

(様式3) 【学校用】

ふるさと教育 取組事例

| | | | |
|--|------------|---|------------------------|
| 学校名 | 邑南町立石見東小学校 | | |
| 学 年 | 主な教科等 | 主に関わる単元名 | 活用した教育資源 (ひと・もの・こと) |
| 4 | 総合 | SDGs大作戦 | 地域の道路、施設周り |
| ねらい | | <ul style="list-style-type: none"> ・だれが見ても気持ちの良い町にする。 ・自分たちの町を大切にします。 | |
| <p>1 取組の概要</p> <p>本年度取り組みたいことを児童が企画する時に、「住んでいる町にゴミが多く落ちていることが気になります。」という意見が出た。そこから子どもたちと話し合い、「自分の住んでいる町をきれいにしよう」→「ゴミ拾いをしよう」とすることを決めていった。</p> <p>始めに地域のゴミ拾いの計画を立て、行った。道にゴミがたくさん捨ててあったので、ゴミのポイ捨てをなくすことを呼びかけようという意見が出た。その方法として学習発表会で発信し、3月にケーブルテレビでの呼びかけ(予定)とポスターを使った呼びかけも行う予定である。</p> <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住んでいる町を清掃することで「きれいな町にしたい。」「きれいな町にできた。」という思いからふるさとを大切にしようとする態度を育てる。 <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語等で学んだ表現する力を活用し、調べたことをICTも利用しながら発表することができた。 ・町をきれいにする方法やポイ捨てをなくす方法などを子ども自身が考え、主体的に学ぶことができた。 ・SDGs大作戦で学んだことを、社会科と合科的に学習できた。 <p>3 児童・生徒に見られた変容(どのような力が身に付いたか等)</p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の住んでいる町をきれいにしようという意識が高まった。 ・ポイ捨てをなくすための呼びかけをしようとする気持ちが高まった。 <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会科で学習した4R(リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル)について、深く理解することにつながった。 ・学習発表会を通して、自分たちが調べたことや考えたことをまとめ、ICTなどを活用して発表することができた。 <p>4 課題や今後の展望</p> <p>邑南ケーブルテレビで町の人にゴミをポイ捨てしないことや町をきれいにすることをアピールすることで、「ゴミをポイ捨てしない」という気持ちになればよいと考える。そこから自分たちの行動で、人の気持ちを動かせるという成功体験を感じられるとよい。</p> <p>また、これからも個々でSDGsについて考え、ゴミに関するだけでなく、自分ができることは何かあるのかを考え、行動することにつなげていきたい。</p> | | | |

※取組の様子がわかるような画像(1枚が500kb以下)を数枚貼り付けてください。

※この事例をしまねのふるさと教育ホームページに掲載する予定のため、画像は必ず承諾を得たものにしてください。



※取組の様子がわかるような画像(1枚が500kb以下)を数枚貼り付けてください。
※この事例をしまねのふるさと教育ホームページに掲載する予定のため、画像は必ず承諾を得たものにしてください。